

ふたりの最期の7日間

2年前、ある新聞投稿欄に71歳の男性の文章が掲載され大きな話題となりました。
がんを患う妻が病室の枕元のノートに「七日間」という詩を残したお話です。
その詩をご紹介します。

「七日間」

神様お願い この病室から抜け出して七日間の元気な時間をください

一日目には

台所に立って 料理をいっぱい作りたい

あなたが好きな餃子や肉味噌 カレーもシチューも冷凍しておくわ

二日目には

趣味の手作り 作りかけの手織りのマフラー

ミシンも踏んでバッグやポーチ 心残りが無いほどいっぱい作る

三日目には

お片付け 私の好きな古布や紅絹

どれも思いが詰まったものだけど どなたか貰ってくださいね

四日目には

愛犬連れて あなたとドライブに行こう

少し寒いけど箱根がいいかな 思い出の公園手つなぎ歩く

五日目には

子供や孫の 一年分の誕生会

ケーキもちゃんと11個買って プレゼントも用意しておくわ

六日目には

友達集まって 憧れの女子会しましょ

お酒も少し飲みましょか そしてカラオケで十八番を歌うの

七日目には

あなたと二人きり 静かに部屋で過ごしましょ

大塚博堂のCDかけて ふたりの長いお話しましょ

神様お願い七日間が終わったら

私はあなたに手を執られながら 静かに静かに時の来るのを待つわ

静かに静かに時の来るのを待つわ

おじいさん だよ

2020年2月
Vol.177



いつも

ありがとうございます。

お時間の許すときは

お読み頂けると嬉しいです。♡

ソニックジャパン 金沢支社 支社長

鳥越介順 (とりごえ かいじゅん)

息子に怒られるんやわ

ある80歳を過ぎたご老人のお話を聞いていると息子さんに怒られる、怒られると言われるのです。息子さんも私はよく知っているがどんなに怒るような人ではないのです...??

別の場面 別のご老人より同じような話を聞く機会がありある結論にたどり着いた。

それは、ご老人になると息子や娘が気を遣って言うことばが怒られているように聞こえるようです。 ※耳が遠いので大きな声になることも関係にあります。

例) 〇〇〇〇には気をつけてね
〇〇〇〇はしたらダメよ
早く〇〇〇〇した方がいいよ
ごはんはしっかり食べなね 等々

何気なく言ってしまう気遣いの言葉が怒っていると捉えらるるようです。優しさが親を困らせているとは気が付いたものです。

